

証券市場新聞

1 第49号

日経平均株価

1万7184円59銭

▼50円91銭 (前日比)

TOPIX

1365.29

▼5.51 (前日比)

2016
10/24
月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861
marketpress.jp



加速する自動運転技術開発

国内外企業が業界を超えて連携



国内メーカーでは初となる自動運転技術が新型セレナに搭載された

「Visc」が車載向け画像認識プロセッサを用いた自動運転技術が搭載されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。現向けては、様々な技術が確立されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。現向けては、様々な技術が確立されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。現向けては、様々な技術が確立されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。

「Visc」が車載向け画像認識プロセッサを用いた自動運転技術が搭載されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。現向けては、様々な技術が確立されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。

自動運転は米国運輸省道路交通安全局や日本政府が自動化のレベルを設定しており、ドライバーが常時、運転状況を監視操作する必要が有るレベル2、システムが要請したときはドライバーが対応するレベル3、完全自動運転をレベル4と

定義している。既に8月下旬に発売された日産自動車(7201)の新型「セレナ」には国内メーカーでは初となる自動運転技術「プロパイロット」が搭載されているが、これはレベル2の自動運転とされている。完全自動運転の実

現向けては、様々な技術が確立されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。現向けては、様々な技術が確立されているが、今月13日には東芝(6502)が確認された。

市販に向け実用化段階迎える

自動運転の普及へ向けて国内外の企業がここへ来て連携や技術開発への取り組みを一段と活発化させている。既に一部の自動車メーカーではドライバーが常時、運転状況を監視する状態での自動運転機能を搭載しているが、ドライバーが監視不要の完全なる自動運転車の市販に向けて様々な機能が実用化段階を迎えている。自動運転に関連する企業を再度チェックしたい。

の共同開発で合意しており、業界の枠を超えた連携が進んでいる。デンソーはトヨタ自動車(7203)や富士通(6702)との3社出資の富士通デンソーについて資本構成の変更を検討することを9月に発表しているが、これも自動運転の技術開発を加速化させるため。今後は自動運転に絡んだM&Aや再編の動きも活発化しそうだ。

日経平均日足チャート





DOWHDの日足チャート

週明け17日、DOWAホールディングス(5714)が急反発。今17年3月期の第2四半期累計連結業績予想を売上高は従来予想の1850億円(前年同期比11・2%減)で据え置いたが、営業利益で115億円から135億円(同33・3%減)へ、純利益で75億円から95億円(同21・2%

DOWAは2Q上ぶれ

非鉄金属価格が高値で推移

減)へ上方修正されたことが材料視された。亜鉛や貴金属などの非鉄金属価格が高値で推移し、原油価格下落や円高によるエネルギーコストの低下も利益増に寄与している。

今週の動意銘柄

東電HD急反落

山氏は柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に慎重な泉田裕彦知事の路線を継承する意向を表明しており、原発再稼働への期待が後退した。

17日、東京電力ホールディングス(9501)が急反落。16日に実施された新潟知事選で米山隆一氏が当選したことが売り手がかかりになった。米山氏は柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に慎重な泉田裕彦知事の路線を継承する意向を表明しており、原発再稼働への期待が後退した。

公開価格4.1%下回る

17日、マーキュリアイの初値17日、マーキュリアイ(7190)が東証2部に新規上場。公開価格1450円を4・1%下回る1390円で初値が生まれた。同社はファンド運用事業、自己投資事業を展開している。

アデランスはMBO

17日、アデランス(8170)がストップ高。投資ファンドのインテグラル傘下のアドヒアランスがMBO(経営陣による買収)を実施すると発表、TOB価格620円にサヤよせするかたちで水準を切り上げた。買付期間は17日から11月29日まで。同社もMBOに賛同しており、MBO成立後、上場廃止となる。

不動産総じて高い

18日、三井不動産(8801)、三菱地所(8802)をはじめ不動産株が総じて高い。不動産経済研究所が発表した首都圏マンションの9月発売戸数が前年同月比40・9%増の3424戸と、昨年11月以来10カ月ぶりに増加に転じた。

メタプス売上倍増で黒字化

18日、メタプス(6172)がストップ高。前日引け後に17年8月期の業績予想を発表、連結売上高で180億円(前期比2・0倍)、営業損益で7億円の黒字(前期3億1000万円の赤字)を見込んだことが材料視された。アプリ開発者のマーケティング戦略を支えるプラットフォームとして、

日本M&A上方修正

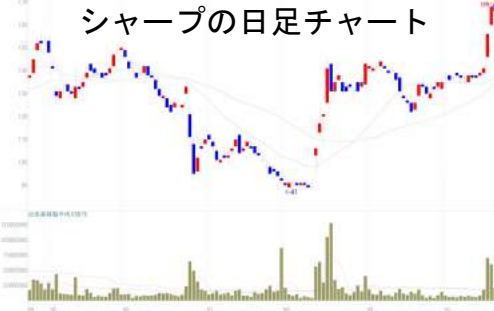
成約数過去最多で大型案件も

18日、日本M&Aセンタ(2127)が急伸。17日大引け後に17年3月期の第2四半期累計(4・9月)連結業績予想を売上高で78億800万円から103億円(前

船井電減額で赤字継続

18日、船井電機(6839)が急反落。17日取引終了後、17年3月期の連結業績予想を下方修正、赤字継続を見込んだことを嫌気したことを嫌気した売りがかさんだ。通期について売上高1720億円を1345億円(前期比20・9%減)、経常損益35億円の赤字を80億円の赤字(前期136億5300万円の赤字)へ引き下げた。価格競争の激化で北米向け液晶テレビ販売が落ち込み、パネル価格の上昇と円高も利益を圧迫する。

シャープの日足チャート



営業黒字は14年

シャープは続騰

17年今3月期営業黒字化観測報道が手がかかり

19日、シャープ（6）が3月期以来3年ぶり不振だった北米テレビ事業からの撤退、従業員の大幅削減の効果が出る。同社を買収した台湾の鴻海（ホンハイ）精密工業の主導でコスト削減も進めると伝えており、収益再建策の進展が好感された。

日商開、日本初地特化型リート法人を設立

19日、日本商業開発（3252）が反発。100%子会社「地主アセットマネジメント」を通じて日本初となる底地のみを組み入れ対象とした特徴のある私募リート「地主プライベート」を設立したことを発表した。新たに設立する地主リートは安定的なキャッシュフローが長期にわたって見込め、建物の保守修繕等の追加投資を要しない。JINUSHIビジネスのみを組入れる、日本初の底地特化型の特徴のある私募リート。これにより安全な投資手法が高く評価されているJINUSHIビジネスを次のステージに移行し、さらなる収益拡大を目指す。

島精機 円高で今期最終減額

19日、島精機製作所（6222）が続急落、後場から値を崩す動き。この日13時に今17年3月期の連結業績予想を売上高は630億円（前期比27・1%増）、営業利益は15億円（同98・9%増）で据え置いたが純利益を70億円から55億円（同68・1%増）へ下方修正したことが嫌気された。円高により第2四半期で約36億円の為替差損の発生が見込まれることが圧迫する。

食べきりサイズで便利な個包装パック

「上質なものを少しずつ」がギフトのトレンド。

有明海産の中でも色艶・香り・口溶けの良い海苔を丹念に焼き上げました。

味付のり

北海道産の真昆布からとっただしをベースに、1年熟成させた宮崎県産本醸造醤油を加え、深い旨みとコクのある味に仕上げました。

かき醤油味付のり

かき醤油を配合した調味液で味付し、甘口に仕上げました。牡蠣の濃厚な風味が活かされています。

しじみ醤油味付のり

宮城県産のしじみを使用したしじみ醤油で味付しました。しじみの濃厚な旨み・コクのある味が特徴です。



AF-20 標準小売価格 2,000円 (税込価格2,160円)

- ◆有明海産味付のり (8切8枚×4個)
- ◆有明海産焼きのり (8切8枚×4個)
- ◆有明海産かき醤油のり (8切8枚×4個)
- ◆有明海産しじみ醤油のり (8切8枚×4個)



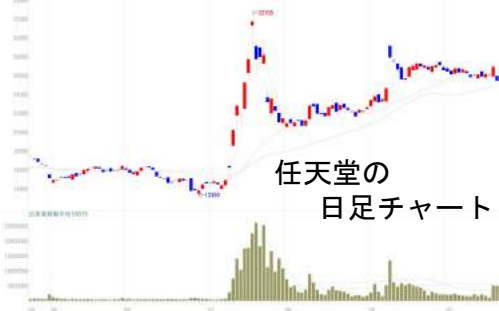
AF-30 標準小売価格 3,000円 (税込価格3,240円)

- ◆有明海産味付のり (8切8枚×8個)
- ◆有明海産かき醤油のり (8切8枚×4個)
- ◆有明海産焼きのり (8切8枚×8個)
- ◆有明海産しじみ醤油のり (8切8枚×4個)

新型ゲーム機に関心

任天堂、「NX」の画像を公開

20日、任天堂（7974）が反発。公式ツイッターでこの日23時から全く新しいコンセプトのゲーム機「NX」（開発コード名）の映像をホームページで公開することを発表、これを材料視した。3分程度の短い映像としているが、これまで、詳細が一切伝えられなかったことから、映像の公開を契機に新型ゲーム機が株式市場でも関心を集める可能性が高



20日、任天堂（7974）が反発。公式ツイッターでこの日23時から全く新しいコンセプトのゲーム機「NX」（開発コード名）の映像をホームページで公開することを発表、これを材料視した。3分程度の短い映像としているが、これまで、詳細が一切伝えられなかったことから、映像の公開を契機に新型ゲーム機が株式市場でも関心を集める可能性が高

ガンホー3連騰

20日、ガンホー・オンライン・エンターテイメント（3765）が3日続伸。スマートフォン向けRPG「セブンス・リバーズ」のサービスが決定、サービス開始に先駆け、事前登録キャンペーンを開始することを発表した。「時間を超えて他のプレイヤーと繋がる新作オンラインRPG。プレイヤーは、荒廃した村の発展を担う若き村長となり、冒険者たちと一緒に、世界を救う冒険にでかける。

マーケットの話題

東宝（9612）が17日大引け後に今17年2月期予想を再増額修正した。東宝の業績好調は「シン・ゴジラ」のメガヒットは当然ながら、当初は数十億程度と言われていたアニメ映画「君の名は。」の効果が波及した。

「君の名は。」大ヒットの波及効果



東宝は「君の名は。」効果で大幅増額

東宝（9612）が17日大引け後に今17年2月期予想を再増額修正した。東宝の業績好調は「シン・ゴジラ」のメガヒットは当然ながら、当初は数十億程度と言われていたアニメ映画「君の名は。」の効果が波及した。今回は、新海誠監督による「君の名は。」の大ヒットは東宝だけでなく、日本アニメの存在を再認識させる意味でも波及効果は大きそうだ。映画のヒットで関連書籍やグッズなどの販売にも好影響

の「名は。」が興行収入154億円を超えて、なお興行成績を伸ばし続けていることが大きい。これまでのアニメ映画では宮崎駿監督の「千と千尋の神隠し」を筆頭にスタジオジブリの作品がヒットを独占してきただけ

「君の名は。」の大ヒットは東宝だけでなく、日本アニメの存在を再認識させる意味でも波及効果は大きそうだ。映画のヒットで関連書籍やグッズなどの販売にも好影響

の「名は。」が興行収入154億円を超えて、なお興行成績を伸ばし続けていることが大きい。これまでのアニメ映画では宮崎駿監督の「千と千尋の神隠し」を筆頭にスタジオジブリの作品がヒットを独占してきただけ

「君の名は。」の大ヒットは東宝だけでなく、日本アニメの存在を再認識させる意味でも波及効果は大きそうだ。映画のヒットで関連書籍やグッズなどの販売にも好影響

関連書籍やグッズなどにも

安永2Q増額で営業3.5倍

20日、安永（7271）がストップ高。今17年3月期の第2四半期累計の連結業績予想を売上高で163億円から160億円（前年同期比4.6%増）へ下方修正したが、営業利

益を4億5000万円から6億3000万円（同3.5倍）へ上方修正したこと

ゲンキー1Q72%増益

20日、ゲンキー（2772）がストップ高。今17年6月期第1四半期の連

ベクター2Q赤字拡大

20日、ベクター（2656）が続落。19日引け後、17年

英和 (9857)

環境計測機器など拡販

19年3月期売上高360億円目指す

ラント・エンジニアリング、電力供給業向け工業用計測制御機器や環境計測機器の販売

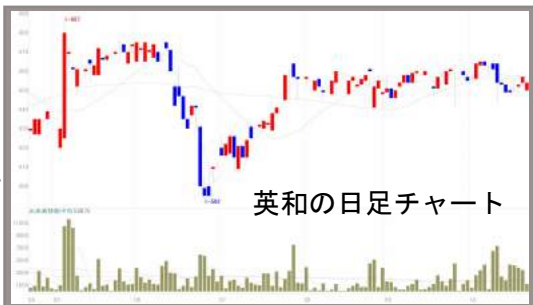
ビジネスチャンス拡大

英和（9857）は計測・制御機器に強みを持つ技術専門商社で組立・製造子会社を擁し、高い技術力が評価され、大手企業を中心に数多くの固定顧客を有している。独立系であることからあらゆる製品を提案することが可能で、さまざまな分野で同社のビジネスチャンスが拡大している。

「環境・安心・安全・品質」をキーワードとした既存商品の販売に加え、顧客研究開発部門向け測定機器販売の強化、FA・環境制御システム及び情報通信・ネットワーク機器の販売、社会インフラ投資の取り込み強化による「はたらくるま」や公共環境関連機器の販売等に注力。その結果、生産設備の大型定期修理工事に

が増加し、官公庁向け産業車両の販売も堅調に推移。今17年3月期は通期連結売上高340億円（前期比4.6%増）、営業利益10億3000万円（同14.4%増）と増収増益を見込む。

19年3月期を目標最終年度とする中期3カ年経営計画では新市場・新商品で社会インフラ・新エネルギー関連等の新市場への取り組みとFAシステムや新商材の発掘により、更なる拡大を推進、売上高360億円を目指す。



英和の日足チャート

特選銘柄

伴う機器更新需要により、化学品製造業、プ

安川電機の日足チャート



2016年9月半ばの連結決算は、前期比27.6%減

安川電9カ月半ぶり高値

2Q大幅減益も予想を上回る

21日、週末の大幅減益で着地したものの、10億円を上回った。先行したことで、高い影響はあつたが、環境・エネルギー分野をはじめとする新規事業領域の開拓や新製品の積極的な投入で競争力・採算性が向上した。併せて、欧州のロボット需要拡大に対応するため、スロベニアに産業用ロボットの生産子会社を設立すると発表している。

今週の動意銘柄

21日、旭ダイヤモンド工業（6140）がマドを空けて急落、下落率は16%を超えた。17年3月期の連結業績を下方修正したことを嫌気した売りがかさんだ。通期予想について、経常利益45億5000万円を19億5000万円に引き下げた。

旭ダイヤモンド下落率16%超

6100万円（前期比10.7%減）へ大幅に減額。機械や石材・建設向け工具が伸び悩み、販売単価下落と円高が収益を圧迫。業績下振れに伴い、年間配当を従来の28円から14円（前期30円）へ大幅に引き下げた。

と大幅減益で着地したものの、10億円を上回った。先行したことで、高い影響はあつたが、環境・エネルギー分野をはじめとする新規事業領域の開拓や新製品の積極的な投入で競争力・採算性が向上した。併せて、欧州のロボット需要拡大に対応するため、スロベニアに産業用ロボットの生産子会社を設立すると発表している。

ユーザベースの初値 21日、ユーザベース（3966）が東証マザーズ市場に新規上場、公開価格2510円を15.8%上回る2908円で初値が生まれた。同社は法人向けオンライン企業・業界情報プラットフォーム「SPEDA」の提供、経済ニュースサービス「News Picks」の提供を行っている。

公開価格16%上回る

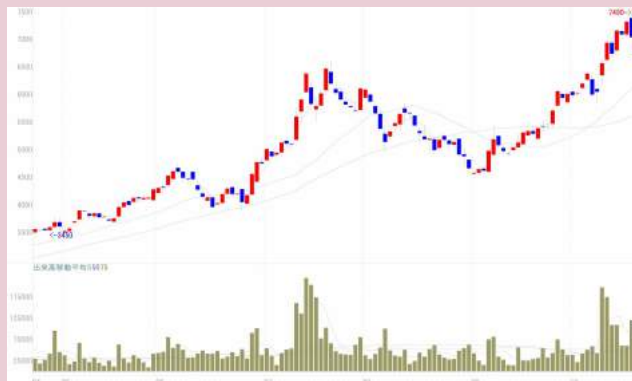
チャートから読む 騰落銘柄

ジェイアイエヌ (3046)



9月15日に4205円まで調整した後、適度な押し目を入れながら上昇基調継続。2月2日に付けた年初来高値5470円更新が視野に入りそうだ。貸借倍率は0.74倍と拮抗しており需給面での不安もない。

薬王堂 (3385)



大勢上昇トレンドのなか、5日移動平均を下値支持ラインに鋭角的な上昇が続く。信用残は売り買い拮抗、日証金残高は大幅な貸株超過で、買戻しが下値を支えており、株価噴き上げ局面に近い。

瑞光 (6279)



4日に3885円まで値を崩し、その後も4000円割れで推移。この水準を維持できなければ3月の年初来安値3720円が視野に入る。今2月期通期予想に対する2Qの進捗は3分の1以下で業績不安も。

FVC (8462)



一旦戻りを試したが上値は重い。日足陽転ならず週足も陰転。再び5日移動平均に上値を抑えられ、下値模索の展開に。1500円台を割り込めば、年初来安値1277円が意識される。

今週の

活躍期待銘柄



UACJ (5741)

17年3月期は61%営業増益

UACJ (5741) は10月14日に297円まで売られた後に直る動き。10月6日に付けた年初来高値330円奪回が視野に入ってきた。同社は13年10月に古河スカイと住友軽金属が合併して誕生、アルミ圧延能力で世界3位を誇る。アルミニウム圧延品は、国内の板類で飲料缶分野でのボトル缶需要が大きく伸長し、自動車分野でもアルミ外板を採用した人気車種のモデルチェンジに伴う需要増が継続。これにより、今年3月期は通期連結営業利益で245億円（前期比61・1%増）と大幅増益を見込む。自動車用アルミニウム材事業を強化するため、「自動車事業推進本部」を10月1日付で新設。各部門・各グループの自動車関連ビジネスを横断して情報収集の強化を図り、自動車軽量化ニーズを取り込む方針。

自動車用アルミニウム材事業を強化するため、「自動車事業推進本部」を10月1日付で新設。各部門・各グループの自動車関連ビジネスを横断して情報収集の強化を図り、自動車軽量化ニーズを取り込む方針。

自動車軽量化ニーズ取込む

(と)



FRONTEO (2158)

AI活用マーケット開拓進める

FRONTEO (2158) は7日に戻り高値1025円をつけた後、一呼吸入れているが、すかさず切り返し上値志向を強めてきた。法的紛争ディスプレイ（証拠開示）支援サービスを主力とするコンピュータ解析事業会社で、ヘルスケア、デジタルマーケティング、ビジネスインテリジェンスの3分野で人工知能（AI）を活用したマーケット開拓を進める。ビジネスデータ分析支援システムの提供を開始する一方、がん個別化医療システムなどの開発に着手。さらに、AI活用エキスパート育成事業に取り組み、高度テクニスト分析技術などAI関連の特許を国内外で矢継ぎ早に取得している。

顧客開拓が進み、今3月期も24%増収を見込むなど売上高が急拡大。来期以降は投資回収期に移行するので、利益急増が期待される。

(先)

投資回収期移行で利益急増も

テーマ銘柄に**照準**

本命、穴株を探る

次世代電池へ 改めて期待 マグネシウム蓄電池実用化へ

ホンダ（7267）が埼玉県産業技術総合センターと世界で初めてマグネシウムを使い、繰り返し充電できる2次電池の実用化にメドをつけたと伝わったこと、関連銘柄が人気を集めた。リチウムイオン蓄電池より材料コストが大幅に安く、大きさも半分程度。まずスマートフォンなど小型電子機器用に2018年

今年1月の埼玉県産業技術総合センターの発表によると、マグネシウムはレアメタルのリチウムに比べ資源量が豊富で、調達コストは25分の1程度で済む。量産できればリチウムイオン蓄電池より安く販売できるうえ、容量を確保できる。性能劣化が激しく、発火する危険性があ

に製品化を目指すのが、大容量化や耐熱性向上が進めば、ハイブリッド車や電気自動車への搭載も可能になるといふ。



自動車分野で大型需要期待

株価材料としては既出ながら、ホンダが実用化に動き始めたことで、自動車分野の大型需要が見込め、リチウムイオンに代わる次世代電池として改めて期待が

高まった。また、関連銘柄は休養を十分で、当面の底値圏から立ち上がってきたものが多い。相場は若くスピード調整があっても、今後、実用化に向けた続報が株価を押し上げていく可能性があり、引き続きマークしておきたい。

関連銘柄のリード役となっている藤倉ゴム工業（5121）は東京工大とマグネシウムを電極に使う新型電池で自動車の走行実験に成功。古河電池（6937）は東北大学、産業技術総合研究所と世界で初めて高性能マグネシウム燃料電池を共同開発、据え置き型に加え、電気自動車用電池として商品化を目指しており、凸版印刷（7911）とは紙製容器でできた非常用マ

グネシウム空気電池を開発している。日本金属（5491）は世界で初めて高強度で温成形成性に優れたマグネシウム合金圧延材を製造、オリコン（4800）は子会社のオリコンエナジーがマグネシウム燃料に関する研究を進める。倉元製作所（5216）はマグネシウム電池を使った発光ライト、日本バルカー工業（7995）は空気マグネシウム電池の発電能力を3倍に高める正極材、東邦金属（5781）は熊本大学と世界初

UMADA I耐熱マグネシウム合金の極細ワイヤーを開発している。不二サッシ（5940）は難燃性マグネシウム合金を使った電池を研究、神島化学工業（4026）は海水から直接マグネシウムを取り出す技術を持つ。

星野三太郎の

株街往来

～「爆買い」から「癒し」へ～

日頃、仕事

でお世話になっていて、東京の知人らと久々に有馬温泉に行った。愛媛県の道後温泉や和歌山県の白浜温泉とともに日本三古湯として有名だが、有馬温泉の魅力は三ノ宮から地下鉄と神戸電鉄を乗り継いでおよそ30分程度で移動できるという交通アクセスで、神戸市内の

観光地を散策して温泉街に移動という観光ルートが想定される。しかし、筆者が電車で移動時には数人の外国人観光客と乗り合わせたのが、数年前に訪れた道後温泉に比べれば、観光客の少なさを感じてしまった。有馬温泉には高級リゾートホテルが数年前にオープンしたそうだが、利用者は富裕層などに限定されるだろうから、他の有名温泉街に負けぬように幅広い意味で観光地として活性化させる必要があるようだ。

百貨店などの第2四半期決算を見てみると今年度は中国人の爆買いも鳴りを潜めて、軒並み前年同期比で減収を余儀なくされている。外国製品の質が向上していることから、日本製を購入する目的での観光はいつまでも続かないだろう。日本にとって観光収入の重要性が高まるなかでは、癒しを求める観光客へのPRはもつと必要だろう。



New product

柔らかシルク roast 製法採用

イートアンド

トルネードローストビーフ丼を発売



イートアンド(2882)は、油そばにローストビーフを乗せた、新ジャンルの“大人のグルメ系油そば”専門店「ローストビーフ油そば

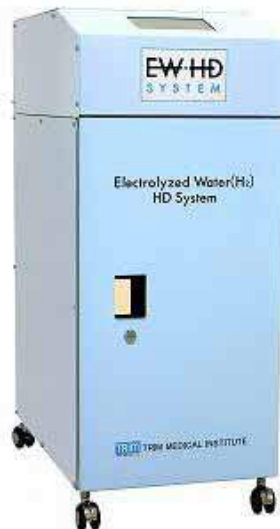
トルネードローストビーフ丼」において、新商品「トルネードローストビーフ丼」の販売を開始した。真空低温調理の“シルク roast 製法ローストビーフ”を120グラム使用し、渦巻くトルネード状に盛り付けた、たっぷりのオニオンソースと、トロっと溶け出す濃厚卵黄仕立てのローストビーフ丼。じっくりソテーした、玉ねぎの自家製ソースはブレンド醤油とほんのりわさび入りでサラリとした味わいとなっている。販売価格は税込みで1200円。

透析の副作用改善

東北大と共同研究部門開設

企業レター

日本トリム
新型電解水透析個人用RO装置EW-SP11-HD



日本トリム(6788)は、東北大学と「電解水透析」に関する共同研究部門を設立した。電解水透析システムは、透析患者の抱える透析による副作用を改善することが期待された透析

療法。今回の共同研究部門開設により、疲労感軽減など症状ごとに臨床研究を実施、エビデンスを確立し、電解水透析システムのさらなる普及に繋げていく。また、電解水透析での知見、技術を応用し、腹膜透析分野において、新たな技術開発、臨床試験の実施に取り組んでいく。在宅での治療法である腹膜透析は、平均5年で血液透析(通院治療)に移行すると言われており、今回の共同研究により腹膜透析期間の延長など患者のQOL向上への貢献を目指していく。共同研究の期間は2016年10月1日(9月30日)～3年間。

日経225先物日足チャート



敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

ターゲットは1万7613円

13週と26週線ゴールデンクロス

シオは13%と加
熱感が出始め
ているが、13
週線の1万6
710円処を

日経平均は
20日に9月
5日の1万7
156円の高
値を抜き、21
日には5月
31日の高値
1万7251

効果で売り圧力が弱くなっ
たところに入ってきて相場
を押し上げた感じがする。
テクニカル的には13週
線と26週線のゴールデン
クロスが続いており、中期
的にも上昇が期待できる。
直近で日経平均が13週線

で上昇が期待できよう。
次のターゲットは4月
25日の1万7613円。
企業業績の減益見通しが多
いには懸念が残るが、1
万7000円台は累積売買
が少なくないところである。
動き始めたら達成は意外と早
いかもしれない。

円も抜いてきた。
外国人投資家は今年9
月までに約6兆円分日本株
を売り越していたが、10
月に入り2週連続で買い越
しに転じている。2週合わ
せて約9000億円分先物
を買い越しており、この外
人が買いが日銀のETF買い
月1万5000円

12年10月で8500円台
だった株価は翌年5
月1万5000円
1万5000円台だった株
価はその後翌年6月に2万
800円まで上昇した。そ
の前のゴールデンクロスは
12年10月で8500円台

台まで上昇した。
このように13週
線と26週線がゴ
ールデンクロスす
るといふことは、
過去の例からみる
と上昇が暫く続く
ということである。
また、新値3本
足でも9月の中旬
以来の陽転であり、
節を抜けてきた感
じはする。騰落レ

今週のスケジュール

- ・23日 衆院東京10区、福岡6区の補欠選挙投票
- ・24日 9月貿易統計(8:50)
米9月シカゴ連銀全米活動指数(21:30)
- ・25日 新規上場：九州旅客鉄道
独10月Ifo景況感指数(17:00)
米8月FHFA住宅価格指数(22:00)
米10月CB消費者信頼感指数(23:00)
- ・26日 9月企業向けサービス価格指数(8:50)
米9月新築住宅販売件数(23:00)
- ・27日 英7-9月期GDP(17:30)
- ・28日 9月失業率・有効求人倍率、9月家計調査、9月消費者物価指数(8:30)
米7-9月期GDP速報値(21:30)

友人のはからいで、中学
の同級生美人お二人と飲み
に行くことになった。もち
ろん、友人には感謝してい
るが、情けないことに実際
会うとなると、当時のかわ
いらしいお嬢さんの印象が
強すぎて気後れしてしまう。
同級生数名に声をかけたが、
みんな同じことを思ってい
るようで「次回気楽に参加
できるようにお前が下地を
つくってこい」という。
日経平均は1万7000
円台を回復したが、個別や
テーマ株物色は単発で終わ
るケースが多い。それでも
筆者は飲み会を単発で終わ
らせない重責を負っている。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。